

# 令和4年度 大田区立清水窪小学校 学校経営計画

令和4年4月1日  
大田区立清水窪小学校  
校長 竹花 仁志

## 令和4年度の重点事項

- 開校90周年に関連する行事等を通じた愛校心の醸成
  - ・開校90周年行事の開催（11月5日）
  - ・90周年を意識した学校行事等の工夫
  - ・周年記念誌制作等を通じた、歴史と伝統の継承・発展
- 「おおたサイエンススクール」の取組
  - ・サイエンスコミュニケーション科の指導内容の充実・改善
  - ・理科授業における指導方法の改善を通じた学力の向上
  - ・自然や科学への興味・関心を高める校内環境の整備
- 感染症対策とICTの活用
  - ・感染症対策の徹底と新しい生活様式による教育活動の充実
  - ・タブレット端末等の積極的な活用の推進
- 主体的・対話的で深い学びの実現による学力の向上
  - ・タブレット端末を効果的に活用した授業改善・家庭学習の充実
  - ・学習のめあてを明確にした、児童の主体性を育む単元構成
  - ・児童相互のよさを生かした協働的な授業展開
  - ・学校図書館の活用
  - ・外部専門機関、外部人材と連携した活動の充実
- 自他ともに大切にできる心情・態度の育成
  - ・あいさつの励行による他者を尊重する意識の向上
  - ・「清水窪スタンダード」を全教職員で全児童へ共通指導
  - ・互いに認め合う態度と自己有用感を涵養するたてわり班活動等の異学年交流の充実
  - ・伝統文化の理解と愛着を深める「和太鼓演奏」の取組

## おおた教育ビジョン

「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」

## 学校教育目標

人間尊重の精神に基づき、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間の育成を願うとともに、東京都や大田区の教育目標の趣旨を踏まえ、本校の豊かな学習環境を生かし、知性と感性に富み、主体的に行動できる児童を育成できるよう、次の目標を設定する。

**自然や友達を大切にできる子ども 心身ともにたくましい子ども よく考え、最後までやりぬく子ども**

## 目指す学校像

「清水窪小学校で学んでよかった」、「清水窪小学校に通わせてよかった」、「清水窪小学校で仕事ができよかった」と、子どもも保護者も地域も教職員も、清水窪小学校を誇りに思える学校を目指します。

- 子どもが互いのよさを認め合い 共に高め合う学校
- 教職員が熱意と使命感をもち、生きる力を 共に育む学校
- 家庭・地域と連携・協働し、信頼され 共に創る学校

## 「おおたサイエンススクール」＜科学大好きな子どもを育てる学校＞

科学教育の推進を通して、自然や人、もの、ことと豊かに関わり、科学的思考力、コミュニケーション力を発揮して、主体的・対話的に学びを深め、未来社会を創造的に生きる子どもを育成します。

- 大田区教育委員会指定「おおたサイエンススクール」（平成23年度～）12年次
  - ・これまでの研究成果を基盤とし、理科教育・科学教育の一層の充実を図る。
- 文部科学省教育課程特例校指定（平成25年度～）10年次
  - ・サイエンスコミュニケーション科（SC科）のカリキュラムの充実・改善と指導理念の継承・発展を図る。
  - ・東工大研究室訪問（3～6年）、SC科見学（科学館・博物館・動物園等の見学）の全学年実施
- 大田区教育委員会指定「理科教育推進拠点校」
  - ・研究成果を他校に広げる普及啓発活動を通して、区立小学校における理科教育の発展に資する。

## 目指す教職員像

- 高い使命感をもって職務を遂行する教職員
  - ・児童の心身の健康・安全を最優先する確実な対応
  - ・保護者と連携した適切な対応
  - ・服務規律の順守
- 互いに連携・協力し、組織的に改善を図る教職員
  - ・組織としての指導体制の構築
  - ・管理職・主幹・主任等のラインの確立と報告・連絡・相談の徹底
  - ・学校全体の共通理解と共通実践
  - ・教職員相互の支え合い・高め合い
- 新たな教育を標榜し、創造する教職員
  - ・自己の専門性・個性を積極的に発揮する姿勢
  - ・地域や外部教育団体等と連携・協力する姿勢
  - ・社会の変化を的確に捉え、改善に取り組む適応力
- 高い危機管理意識をもった教職員
  - ・事故を未然に防ぐ指導と事故発生時の迅速な対応
  - ・問題行動の未然防止のための意識的・組織的な対応
- 常に学び続ける教職員
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
  - ・日常的な相互授業観察による学び合い
  - ・校内OJTグループでの授業力向上研修
  - ・校外研修・指導教諭公開授業等への積極的な参加
- 働き方改革の推進による、児童と向き合う時間の充実

## 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成

## 確かな学力の向上

～主体的に問題解決する力の育成～

- サイエンスコミュニケーション科をはじめとする各教科等において、学習のめあてを明確にして見通しをもたせ、協働的な問題解決の場を設定し、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 中高学年で、新聞記事の要約や感想を書くなどの説明文を読み解く学習を行い読解力の向上を図る。
- タブレットを活用し授業や家庭学習の充実を図る。
- 外部専門機関、外部人材と連携した学習活動の充実を図る。
- 読書学習司書を活用した読書への興味・関心を高める取組を充実させ、朝読書、読書週間等を通して、読書習慣の定着を図る。
- 東京ベーシックドリルや大田区算数ステップ学習チェックシートを活用し、児童の習熟度を把握し、基礎・基本の定着度の向上を図る。
- サポートルームとの連携を密にし、特別な支援を要する児童の自立に向けた主体的な取組を支援する視点から適切な指導を行う。

## 豊かな心と社会性の育成

～規律ある生活態度の育成～

- 人権尊重の精神を育む講話、人権標語、人権ポスター作り等の活動の充実を図る。
- 「清水窪スタンダード」を基に、日常生活における規律の必要性の認識を高め、社会の一員として重要な規則尊重の意識の向上を図る。
- 「生命尊重」「親切、思いやり」「規則の尊重」「正直、誠実」を重視した道徳教育を通して他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を涵養する。
- たてわり班活動による異学年での交流を継続的に多様な場面で実施し、自己の成長の自覚と思いやりの心、自己有用感の醸成を図る。
- 地域や外部の方々との触れ合いや、直接的・体験的な活動を重視した学習を通して社会性を育む。
- 和太鼓演奏に取り組み、地域の方へ披露する活動を通して、伝統文化への理解と愛着を深めるとともに、地域の一員としての自覚を高める。

## 健康・体力の向上

～自ら健康で安全な生活を創り出す力の育成～

- 「早ね・早おき・朝ごはん」の取組で学校と家庭が連携して基本的な生活習慣の定着を図る。
- 食の素晴らしさへの興味・関心を高め、望ましい食習慣を形成する食育を推進する。
- 低学年体育において体育補助員を活用し、効率的な授業展開を通して、運動量とともに運動の質の充実を図る。
- 運動会、体育朝会、持久走等の体育的行事の充実を図る。
- 体力テストに向けた自己の目標の設定と、結果から課題を把握し、改善に向けた取り組みを行う。
- 体育・健康教育授業地区公開講座をはじめ、地域、外部団体との連携を図り、健康的な生活態度の体得を図る。
- 安全・安心な環境整備と防災・交通事故防止・不審者対応等、危険を回避する能力を育てる安全教育の充実を図る。